

# 令和4年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立飛驒特別支援学校

学校番号

119

## 自己評価

学校教育目標	<p>「ひとりだちのできる子」の育成（自立と社会参加の力を育てる）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活自立（基本的な生活習慣の確立・基礎体力の向上・基礎学力の定着）</li> <li>・社会自立（情緒のコントロール・コミュニケーションスキルの獲得・規範意識や危険回避能力の育成）</li> <li>・職業自立（自己理解と行動の調整・働くことの意義や役割の理解・職業に対する理解や実地的な知識・技能・態度の習得）</li> </ul>
評価する領域・分野	「学校教育活動の周知」（教育活動、保護者・地域連携、情報提供）
現状及びアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の雰囲気や児童生徒と関わる当校職員の様子、コロナ禍における安心安全対策等に対して保護者からは90%を超える肯定的な評価を得ている。特に、教育活動に係る保護者との共通理解や地域へ発信等の連携については昨年度約11%の方が「全くあてはまらない」と回答していたが、今年度は「全くあてはまらない」の解答が無くなった。しかし、学校として丁寧に対応している内容（体罰、いじめ）についても、約30%の方が「わからない」と回答されており、当校の取組がまだ十分周知されていないことがわかる。</li> </ul>
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校通信やホームページを活用した教育活動のタイムリーな配信に努める。</li> <li>・各地域での作品展・写真展を通して教育活動等の情報提供に努める。</li> </ul>
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校通信やホームページ内容の充実</li> <li>・学習支援部によるホームページ管理、作品展、写真展の実施</li> <li>・部主事、行事担当者を中心とした教育活動の紹介・広報</li> <li>・分掌の連携による校外作品展の拡充</li> </ul>
目標の達成に必要な具体的取組	<p>学校通信・HP（ホームページ）を通して教育活動を配信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校通信の定期的な発行と地域への回覧を通じた教育活動の周知に努める。</li> <li>・校内行事、外部支援等の情報をタイムリーに取り上げたり、生徒の声を取上げた情報を掲載したりする。</li> <li>・HP（ホームページ）レイアウトの変更</li> </ul> <p>教育活動を伝える場の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品展等の場に掲示するポスターにHPへのQRコードを掲載する。</li> <li>・報道機関・機関誌を活用し、教育活動の情報配信・理解啓発活動を行う。</li> <li>・作品展の感想や製品販売時の意見を、職員や生徒にフィードバックする。</li> </ul>
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校通信の発行（年間6回）と地域への回覧（年間6回）</li> <li>・個別懇談等の保護者や生徒からの意見や感想</li> <li>・学校運営協議会委員や地域等の外部の意見</li> <li>・学校評価アンケートの実施</li> </ul>
取組状況・実践内容等	<p>学校通信・HP（ホームページ）を通して教育活動を配信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページを明るく見やすいレイアウトに刷新した。</li> <li>・学校だよりの地域回覧を通して、教育活動の紹介と理解啓発に取り組んだ。</li> <li>・教育活動をタイムリーに掲載した。</li> </ul> <p>教育活動のねらいや願いを伝える場の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品展・写真展等の開催場所を広域に拡大し、学校や教育内容をいろいろな人に紹介する機会を増やした。また、ポスターを掲示したり、掲示用ポスターにQRコードを掲載したりして、誰でも当校のHPを閲覧できるよう工夫した。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報道機関を積極的に活用し、教育活動等の紹介だけではなく、生徒が実際にインタビューに答えるなど生徒発信の場を設定することができた。</li> <li>・保護者懇談では、授業や行事に向けての取組み動画を視聴できるようにし、学習状況や児童生徒の様子についての理解を図った。</li> </ul>
評価の視点	評価
①本校の職員が、保護者や地域に対して、教育活動について伝えようとする意識をもつことができたか。 ②本校の教育活動に対する保護者の理解が深まったか。 ③本校の教育活動に対する地域の理解が深まったか。 <b>評価の視点は3～4項目を原則とする。評価にあたっては以下の基準を参考とする。</b> <b>A 十分達成した、B おおむね達成した、C やや不十分、D 不十分</b>	A <b>(B)</b> C D A <b>(B)</b> C D A <b>(B)</b> C D
成果・課題	総合評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>○積極的にHPに各部の学習や活動の情報を掲載したりするなど配信に努め、当校のホームページを閲覧する人の数が昨年度より増加した。また、ホームページや作品展、写真展で当校に関心をもち、作業製品の購入につながった。</li> <li>○学習の様子を十分に参観いただけない状況にあるため、学校・学級通信や授業や行事の取組みの様子を撮影した動画を通して懇談を行い、保護者に対して児童生徒の様子を伝え、教育活動の周知に務めた。</li> <li>○作品展、写真展を支所でも実施するようにしたことで、支所や地域での理解啓発が進んだ。また、その際にPTAと協力して設営等を行ったことで、保護者と学校の連携や保護者同士のつながりが深まった。</li> <li>○学校通信を学校近隣の住民等に回覧したり、学校通信・ポスター等にHP用のQRコードを添付したりして、教育活動の理解啓発に努めた。</li> <li>○高等部作業班（ビルクリーニング班）が、授業で地域施設の清掃活動を行った。教育活動を知っていただく機会となった。</li> <li>▲ホームページを見たい・知りたいと思うような一層魅力ある内容にするために、保護者や生徒からのアイデアを取り入れて作成する。</li> <li>▲これまで行ってきた学校周知活動等の発信を継続することで充実した活動にする必要がある。</li> </ul> <b>成果と課題が明確にわかるように工夫して記述する。○成果 ▲課題</b>	A <b>(B)</b> C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページでの積極的な発信を促進する。</li> <li>・作品展や写真展等を実施し、多くの方に知っていただけるよう周知の方法を工夫する。また児童生徒の学びの様子が伝わるように内容を工夫する。</li> <li>・作業製品を通して、交流と販売以外にも教育活動として発展させる。</li> </ul>

### 学校関係者評価 (令和5年2月17日実施)

<b>意見・要望・評価等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの刷新や作品展等の実施により情報発信力を高めようとする取り組みは成果をあげてると思います。</li> <li>・最近ホームページをはじめとして、先生方が「学校をよくしていきたい」という気持ちがよく伝わってくる。会議だけでなく学校に来て児童生徒の雰囲気も良く学校が明るく感じるようになりました。</li> <li>・今後は新たな情報発信方法として地域のFM局の利用や、すぐメールの活用の拡大等を検討してはどうか。</li> </ul>
---